



あかまつ

学校教育目標

志をもち 共にやりぬく子

令和8年2月2日 浜松市立与進小学校 学校だより No12 全校児童809人

厳しい寒さの中、子供たちは、朝から運動場で遊んだり、縄跳びの練習をしたりして、元気に過ごしています。さて、12月に保護者の皆様に御協力いただいた保護者アンケート結果をもとに、来年度の教育活動をよりよいものにしようとする新年当初より職員で話し合いを行いました。結果について、御報告いたします。

主幹教諭 内田 智美

令和7年度 学校評価アンケート振り返り

児童の前期と後期を比較すると、「友達と協力して活動に取り組むことができた」や「友達は自分を認め、励ましてくれる」の項目が向上しました。2学期の行事や日々の授業を通じて、子供たちが「目標をもち、仲間と協力してやり抜く」という成功体験を積み重ねてきたことにより、認め合い、励まし合う温かな集団作りができたと感じます。そのことが、児童にとって学校生活における高い満足感と安心感の高さにつながったと思います。また、学習面において、「授業が楽しい」や「授業の内容がよく分かる」の数値が上がり、学習意欲の向上も見られます。全学年を通して『聴く・話す』の学習習慣が定着した手応えを職員間で共有しています。今後、学力の定着に向けて、教員の研修もさらに深めていきます。

保護者については、昨年度と比較して、「お子さんは、楽しく学校に通っている」「学級には認め励まし合う空気感がある」の項目が向上していることから、安心できる居場所となっていることや認め合う空気感の広がりを御家庭で感じ取ってくださっていることに感謝申し上げます。

課題としては、保護者の「言われる(指示される)前に自分で行動できる」が、全項目の中で最も低い水準にとどまっています。学校で見せる前向きな姿を、家庭や地域でも「自ら考え、行動する姿」として発揮できるよう、子供たちの自信を確かな主体性へと引き上げていく取り組みが必要です。そのためには、児童の自己肯定感の向上が必要です。引き続き、学校生活の様々な場面で、すべての教職員が児童一人一人を大切に、児童が自信をもって活動できる機会(役割や出番)を増やし、温かな声掛けや支援をしていきたいと思っております。

今後も、学校に携わる皆様の思いを大切にしながら、友達と仲良く、楽しく生活できる学級づくり、学校づくりを進めていけるよう、職員一丸となって教育活動にあたってまいります。

～御意見・御感想への回答～

学校活動について

保護者が参観する学校活動(運動会、参観会、音楽会、持久走記録会)について、開催時期、運営方法、内容、連絡方法等、御意見をいただきました。児童の健康安全や保護者の参観しやすさを考えながら、来年度の改善に努めていきたいと思っております。来年度の年間予定については、3月初旬にさくら連絡網にて配信させていただく予定です。

学習面について

学習の理解度に対する心配や、宿題の量や内容についての御意見をいただきました。授業では主体的に学べる指導方法の工夫やタブレット活用を進め、個々の習熟に応じた支援を行います。また、宿題については、家庭学習の目的を明確にしつつ、各学年の発達段階や個々の習熟度、状況に合わせた柔軟な課題提示や支援のあり方を検討していきます。

教職員の対応について

丁寧な個別指導や子供の充実した学校生活への感謝の声を多くいただき、職員にとって大きな励みとなりました。本当にありがとうございます。一方、指導の統一性や児童が安心して過ごせる環境への御指摘をいただきました。校内での指導方針を共通理解し、一貫性のある対応に努めます。そして、『与進ファミリー』として、どの児童の心にも寄り添い、温かく、かつ毅然とした指導ができる体制を整え、安心して登校できる環境づくりを最優先に進めていきます。